

財務情報

2025年度実績について

2025年度は、電子材料(EM)事業の大幅な販売拡大およびライフサイエンス(LS)事業の収益改善により、売上収益は前期比13.4%増の4,407億円となりました。コア営業利益は、EM事業を含むデジタルソリューション(DS)事業の成長とLS事業の黒字化を主因に623億円となり、2007年度に計上した営業利益の過去最高額を上回りました。また、当期利益は、LS関連事業の譲渡益も寄与し607億円となりました。2025年度はAIに牽引された需要環境に加え、DS事業への継続的な資源投入と戦略遂行の成果が、過去最高益の更新につながりました。

また、将来の成長に向けた投資も着実に実行しました。EM事業において、開発拠点の新設など、能力増強とサプライチェーン強化に向けた取り組みを積極的に進めました。財務面では、事業からのフリーキャッシュフローに加え、LS事業のIVD*1事業譲渡による収入等を活用して借入金の返済を進めました。その結果、純有利子負債は前期末比1,227億円減少し、自己資本比率は34.8%へ改善しました。

(億円)

	2024年度	2025年度	YoY
売上収益	3,888	4,407	+519 +13.4pts
コア営業利益	-16	623	+640
コア営業利益率	-0.4%	14.1%	+14.5pts
営業利益	-2,044	405	+2,450
EBITDA	-1,363	897	+2,260
当期利益	-2,177	607	+2,784
純有利子負債*2	4,661	3,434	-1,227
自己資本比率	29.6%	34.8%	+5.1pts

*1 IVD : In Vitro Diagnostics. 体外診断用医薬品

*2 有利子負債の総額から現金および現金同等物を差し引いた額

*3 LCD : 液晶ディスプレイ

*4 OLED : 有機EL

各事業の進捗

EM事業では、販売好調と事業ポートフォリオの拡大により、2025年度の売上収益は前期比24%増の1,960億円となり、過去最高を更新しました。これにより、先端分野における総合半導体材料メーカーとしての基盤を着実に築いています。ディスプレイソリューション(DIS)事業では、前期の一過性収益を除き概ね前期並みとなる461億円の売上収益を確保する中、LCD*3に加えてOLED*4での採用が拡大しました。オプティカルソリューション(OPT)事業では、優れた光学特性を有する樹脂製品の技術力を強化し、売上収益は101億円と着実に成長しました。これらの結果、デジタルソリューション事業全体では、過去最高となる売上収益2,521億円、コア営業利益632億円となりました。合成樹脂(PLA)事業では、自動車・産業分野向けが微減となった一方で、高付加価値分野へのシフトを加速しました。その結果、売上収益は928億円と前期比で微減となりましたが、コア営業利益は34億円、前期比21億円増と増益を確保しました。LS事業では、コア営業利益が黒字化し、事業構造改革の成果が表れました。

2024年度と2025年度におけるコア営業利益の差

